



園の自己評価

社会福祉法人 花畑福祉会

令和 7 年度		1	2	3	園長	理事長
評価日	フラワーチャイルド保育園					
	R8 年 3 月 27 日	2	16	22		
<<目的>> 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の計画に活かすものとする。 <<評価方法>> 3月クラスリーダー会議に於いて、園の自己評価を実施する→園毎の成果と課題を明らかにし、管理者会議にて報告→園の全職員に自園及び全国の評価結果をフィードバックする→次年度の事業所計画に反映させる。						
		3段階評価 1 (できていない) 2 (努力必要) 3 (できている)			評価・改善案	
経営について	1	地域に必要とされる保育園である。	1	2	3	・地域に根付いた事業を取り入れる
	2	各管理者が責務を果たしており、法人組織・施設の組織体制が有効に機能している。	1	2	3	・今後さらに機能できるよう努力する
	3	法人理念・経営理念・保育園理念に沿った運営ができている。	1	2	3	・第三者評価にて指摘をうけ改善 ・保護者アンケート実施にて改善
	4	評価制度や目標達成シート、職員テーマを資質向上に活かしている。	1	2	3	・組織体制の構築
	5	年度末に保護者運営アンケートを実施し、保護者へのフィードバックと共に、次年度の運営に反映させている。	1	2	3	・毎年度、保護者アンケートを実施
	6	職員の処遇や労働状況が整い、意欲を持って働ける職場になっている。	1	2	3	・職員アンケート実施 ・残業無を実施
	7	個人情報を通正に取り扱っている。	1	2	3	・全職員周知して、取り決めている
	8	能率的・合理的・明文化された組織になっている。	1	2	3	・ごころ掛けている
	9	公文書の授受・発送・処理を取り扱い、保管や処理は慎重かつ適正に行っている。	1	2	3	・管理者が、厳重に保管している
	10	各種会計処理を適切に取り扱っている。	1	2	3	・複数チェックを行っている
	11	職員は就業規則や保育の手引きなどの規則を遵守し業務にあたっている。	1	2	3	・全職員に年度始め研修で取り入れている
	12	各種会議は効率的・効果的に進めている。	1	2	3	・分散化し短時間で、電子化
	13	研修計画や研修制度を充実させ、その成果を日々の保育に活かしている。	1	2	3	・様々な研修を取り入れている 実施した研修を保護者に掲示している。
	14	職員相互が互いに高め合う関係を築いている。	1	2	3	・職員間意見の言える環境を努力中
	15	SNSなどの情報発信手段についての知識に備え、適切に活用している。	1	2	3	・インスタを活用だが不定期 ・努力が必要
保育について	16	保育所保育方針を遵守した保育計画の立案、並びに保育がされている。	1	2	3	・計画に取り組んでいる
	17	計画は子どもの実態、地域の状況、社会情勢などを踏まえた内容になっている。	1	2	3	・最低限基本的な内容を取り入れている
	18	保育内容・保育方針・年齢ごとのねらい、保育テーマが全職員に共通理解され、展開されている。	1	2	3	・改めて、作成

園の自己評価

社会福祉法人 花畑福祉会

保育について	19	子どもの人権を尊重した言葉かけや対応がなされ、子どもの最善の利益（子ども第一主義）で保育が行われている。	1	2	3	・園児への対応等、常に研修等で取り入れている
	20	子供の発達のプロセスや発達心理学を理解しているスタッフにより、適切な援助がなされている。	1	2	3	・保育指針ののっとり行っている ・全職員の理解統一に努力中
	21	担当と子どもの間には信頼関係が成り立っている。	1	2	3	・様々な先生と交流し関係を築く
	22	児童や家庭についての必要な記録は洩れなく記載している。	1	2	3	・児童票・経営簿にて記録
	23	保健的な環境の中で保育がされている。	1	2	3	・保健所通信を工夫して周知
	24	保健・安全に関する指導や訓練を通して、よい習慣が身についている。	1	2	3	・毎月適度の緊張感を保ち取り組む ・研修を実施
	25	子どもにとってよりよい環境を常に作り出している。	1	2	3	・クラス等で配置点検を実施
	26	日々の振り返りを基に保育（業務）の改善に努めている。	1	2	3	・反省ホワイトボードの活用 ・今後も努力必要
	27	行事を通して何を育てようとしているかを明確にし、子どもの主体性を助長する援助ができている。	1	2	3	・本格的無制限で実施中
保護者について	28	異年齢の触れ合いの大切さを理解し、関わりの場を意識的に取り入れている。	1	2	3	・各クラスでの対応 ・行事やお手伝いを通して交流
	29	幼児は、施設間交流や小学校との連携の機会を設け、成長を促している。	1	2	3	・今年度交流実施 ・2年カリキュラム未計画努力中
	30	保護者への説明は丁寧に行い、不安や不信感を生じさせていない。	1	2	3	・細かい説明を心がけていく
	31	保護者との意思疎通が良好で、子どもの発達に関する共通理解や育児指導、家庭支援を行えている。	1	2	3	・少しづつだが、取り組んでいる。 まだまだ努力が必要
	32	保護者を対象にした子育ての啓発の機会を設けている。	1	2	3	・感染症対策で実施 まだまだ努力が必要
環境	33	園内外の点検を定期的に行い、園内外を美しく保ち、衛生的、整頓、情緒的な保育環境を作れている。	1	2	3	・月1回の点検にて ・畑、花壇等の整備努力中
	34	不審者対応に常に周到な配慮をしている。	1	2	3	・防犯カメラ、施設対策
地域との連携	35	保育園の様子や、園が行っている保育事業などを地域に情報発信できている。	1	2	3	・ホームページ等で活用
	36	小学校・医療機関・専門機関・公共機関・幼稚園などの交流や情報を共有している。	1	2	3	・幼保小プログラム実施 ・交流努力中
	37	地域の人材活用、地域の行事などに積極的に参加し、文化や生活に触れている。	1	2	3	・食育推進委員に登録。 ・地域に根付いた事業を取り入れる
	38	保育園を地域の資源として開放し、人々が気軽に訪れる場所になっている。	1	2	3	・園庭開放、子ども食堂
	39	第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	1	2	3	・5年に1度実施予定
	40	地域や保護者のご意見を施設運営に反映している。	1	2	3	・アンケート行事等実施